

メルマガ登録で録画アーカイブを視聴できます

直感力
羽生善治
12万部突破!

国民栄誉賞 受賞
史上初の永世七冠

至高の思考
日本を代表する投資家
テスト



インフレはピークアウト!?
金・原油・日経225の市場予測

11000%の男

ラリー・ウィリアムズ



世界経済と市場分析
バブルの崩壊

現役ファンドマネージャー
石原順

×

エコノミスト、為替ストラテジスト
エミン・ユルマズ



日経平均の実力と戦略

マーケット・アナリスト
荒野浩

×

一般社団法人オプショントレード普及協会 代表理事
守屋史章



相場を動かす市場分析

カブ知恵 客員アナリスト
岡村友哉

×

50億稼いだ男
たけぞう



トレーダーズワールド2022

検索



<https://www.panrolling.com/seminar/jpx2022/?a=17809>

日経平均の実力と戦略 結果発表と今後の対策

マーケット・アナリスト

荒野 浩

×

一般社団法人オプショントレード普及協会 代表理事

守屋史章

10月7日(金) 16:00-16:40

祝日取引スタート記念オンラインイベント

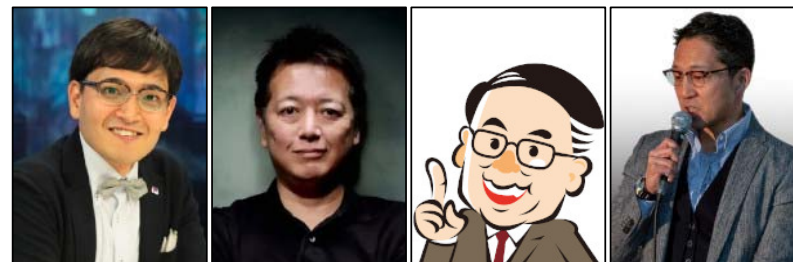
Traders World 2022

トレーダーズワールド

日本取引所グループ主催



10月以降



日経OP売坊さんも10月以降に出演決定！

トレーダーズワールド2022

検索



<https://www.panrolling.com/seminar/jpx2022/?a=17809>

日経OP売坊の無料メルマガ「グレイ・リノ通信」

配信実績（一部抜粋）

- 日経平均の急落で「PUT売りを狙った仕掛け」とは、どういうことですか？
- なぜドル高は米国株に逆風、日本株に順風になり得るのでしょうか？
- 米政策金利が1.00%引き上げとなれば、サプライズとなるのでしょうか？
- 債務不履行となる国・企業が増加していく可能性があるのでしょうか？

▼メルマガ登録はこちら▼



<https://trs.jp/r/op-mail>



『賢者のマーケットインサイト』資料

(2022年9月28日放送分)

10月中旬から【オプション倶楽部】OP売坊戦略コース2022年**12月開講**の新規会員を募集します(第五回・6カ月間)。それに際して**11月26日(土) 10時**にオンラインで入門セミナーを開催! 詳細は倶楽部サイト「optionclub.net」をご覧ください。「**OP売坊戦略**」で検索!

- この資料は、ファイナンシャル・リテラシーの向上のみを目的として作成されたものです。
- したがって、いかなる投資勧誘の目的で作られた物ではありません。
- この資料での数値などにつきましては、信頼できる筋からの情報に基づいておりますが、その正確性を保証するものではありません。
- 投資につきましては、あくまで、自己責任でお願い申し上げます。
- 日経OP売坊は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。



日経OP売坊

2022年10・11月限SQ日までの注目イベント (P.2)

<米国>

- 10月07日： 雇用統計・失業率
- 10月12日： FOMC議事録
- 10月13日： 消費者物価指数
- 11月02日： FOMC政策金利
- 11月04日： 雇用統計・失業率
- 11月08日： 中間選挙
- 11月10日： 消費者物価指数

<欧州>

- 10月27日： ECB政策金利

<日本>

- 10月04日： 消費者物価指数
- 10月28日： 消費者物価指数
- 10月28日： 日銀政策金利

前回の米CPI (消費者物価指数) では、統計作成の細部を把握している連銀に比べて楽観的な市場予測に驚いていました。このようなズレでは、PUT買いやベアPUTスプレッドなどOPを使った戦略が有効です (P5・14参照)



※SQ日は期近 (月次・週次) の未決済建玉が清算されるためオプショントレーダーにとって区切りとなる日です。

2022年 9月

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2022年 10月

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※10月10日と11月3日には祝日取引が実施されます。

2022年 11月

					3	4	5
6	7	8	9	10	11		

※次回は10月26日に出演させていただきます予定です。

- 日経225週次オプションのSQ日
- 日経225ミニ先物・月次オプションのSQ日
- メジャーSQ 日経225先物・ミニ先物・月次オプションのSQ日















注) 予定は予告なく変更される場合があります。
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから管理人作成

※『OP売坊公式ツイッター (@OP49431790)』でもニュースについてつぶやいています。ご参考になれば幸いです



OP売坊のグレイ・リノ (P.3)

サイは普段おとなしいが
怒ると、とっても怖いのだ

-  食料価格と原油価格の高止まり [👉P4]
-  地政学的リスク (ウクライナ問題、中国の台湾侵攻懸念など)
-  日米欧でスタグフレーション確定か? [👉P9]
-  高利回り債 (ジャンク債) 市場の崩壊 [👉P6]
-  新興国通貨安
-  日米欧中の財政悪化・増税 [👉P10]
-  米国の長短金利動向 [👉P7・9]
-  政府・日銀の円買いドル売り介入
-  金利上昇・資産圧縮の株式への影響 [👉P7]
-  米国中間選挙とFRBの金融政策 [👉P4]
-  日経平均の銘柄入替と年末までのSQ [👉P11~12]
-  日本の2024年・2025年・2030年問題
-  中国の不動産バブル崩壊懸念と景気失速
-  バフェット指数 (株式時価総額÷名目GDP) の異常値
 - 米国 : 151.0 (9月22日概算)
 - 日本 : 142.7 (9月21日概算)



円安で価格が上がっているのは日本経済にとって大きな問題です。一方、需要がまだまだ不足しています。9月8日付日本経済新聞では「4-6月期の需要不足は年率で17兆円まで改善しているものの、まだまだ大きい」と報じていました。したがって、金利を上げれば、景気が悪くなるという半面もあります。なお、日銀が金融政策転換を余儀なくされれば、ドル円に急激な巻き戻しと混乱が起こると考えます

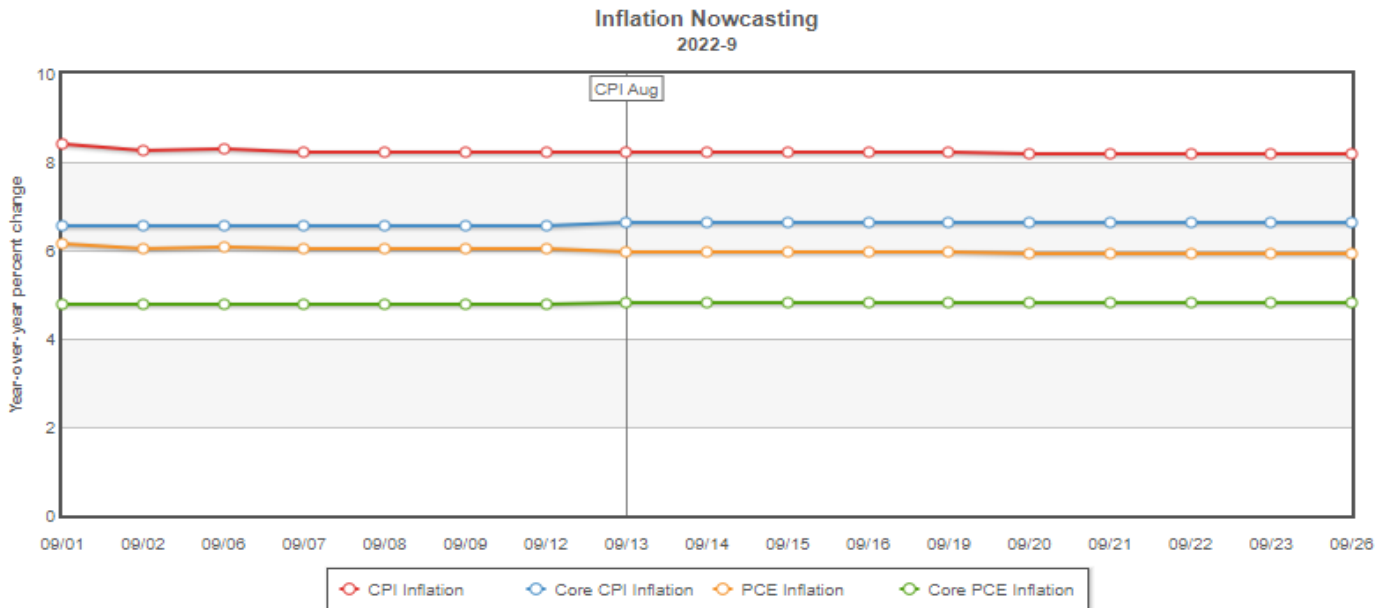
など

グレイ・リノ (灰色のサイ) とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが起これば大きな値幅が出るため、オプション投資家に重要となる。特にPUT買いを仕掛けられる可能性や、破産もあり得るPUT売りを避けられる可能性が高くなる。

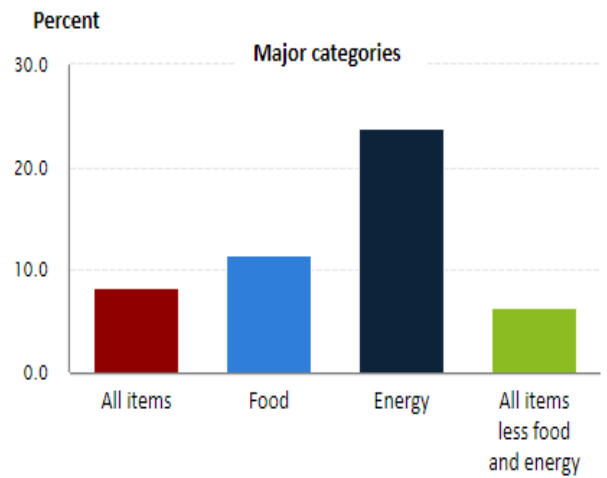


さすがです、クリーブランド連銀 (P.4)

クリーブランド連銀インフレ予測 (9月26日現在)



9月12日の8月CPIで連銀は高止まりを予想して的中させました



コア部分の上昇が目立ちます。簡単にいえば、サービスなどの価格が上昇しているということです

Month	Inflation, year-over-year percent change				Updated
	CPI	Core CPI	PCE	Core PCE	
September 2022	8.19	6.64	5.94	4.82	09/26
August 2022			6.00	4.68	09/26

Note: If the cell is blank, it implies that the actual data corresponding to the month for that inflation measure have already been released.

<2022年8月前年比> CPI : 8.24% コアCPI : 6.56%



出所) <https://www.clevelandfed.org/our-research/indicators-and-data/inflation-nowcasting.aspx>



OP買い戦略：10月限23000PUTは2倍に (P.5)



出所) 楽天証券「MARKET SPEED II」より筆者コメント追加



「一抜けた」 低格付け債の金利急騰は資金移動の結果 (P.6)

米国低格付け債の利回り (セントルイス連銀)



低格付け債（高利回り債・ジャンク債）に急激な金利上昇が起きています。つまり、その市場から資金が逃げているわけです。今後も低格付け企業の資金繰りはかなり悪くなると考えています。6カ月物や1年物の米国債が4%程度の利回りならば、あえてリスクを取る必要はないかもしれません

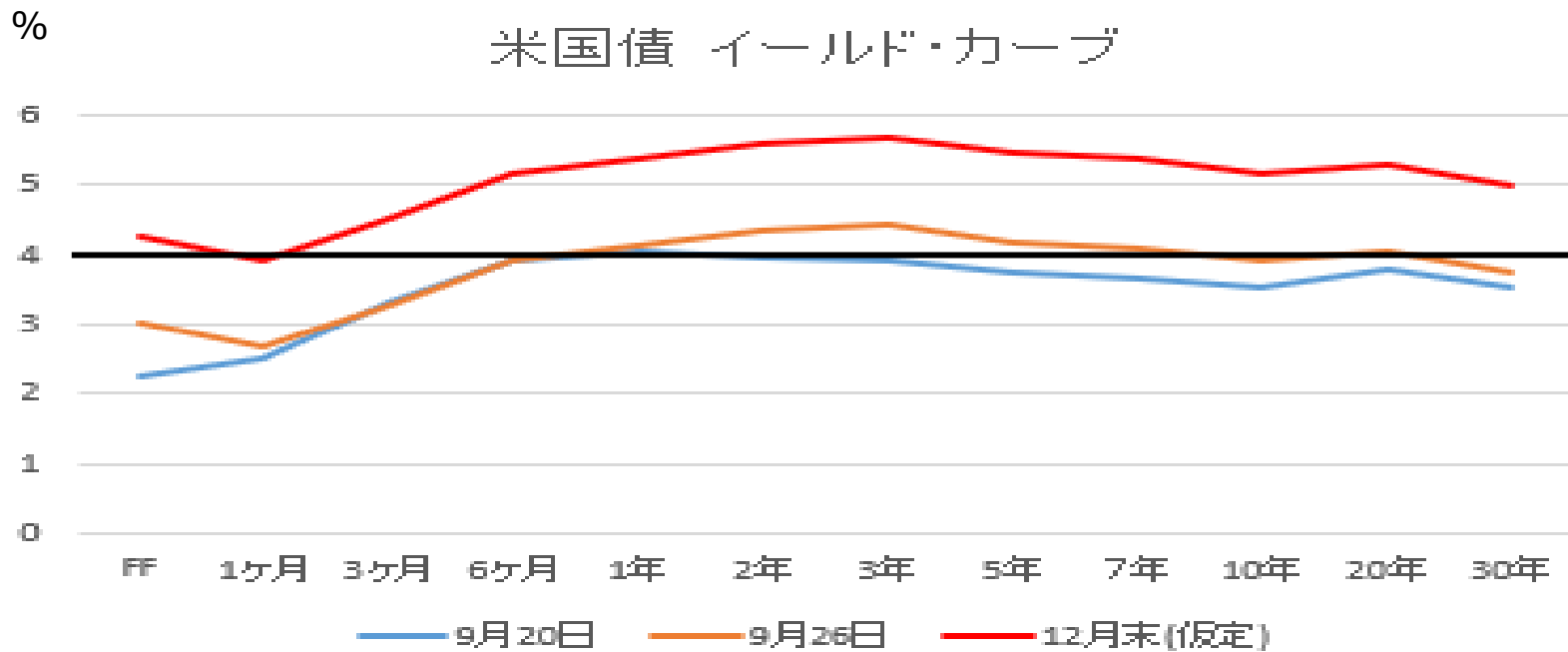
FRBのバランスシート推移



政府も市中からおカネを回収しています。つまり、金融市場のおカネの流れが変わっています。市場が縮小・流動性が低下しているということです



年末の米イールド・カーブは？ (P.7)



当面、金利にさらなる上昇圧力がかかり続けると考えています



リスクプレミアムとは、ある証券の期待収益率と無リスク金利との差のことです。10年債とS&P500のリスクプレミアムの差が縮小しているということは、それだけ株式が割高とも考えられます。これが正当化されるには、企業業績が成長する必要があります

リスクプレミアム	現在 益利回り	現在 S&P500
3.0	6.09	3,693.23

リスクプレミアム	現在 益利回り	現在 S&P500
2.5	6.09	3,693.23

現在	米10年債金利	益利回り目標	理論価格
	3.687	6.687	3,363.51
	3.000	6.000	3,748.63
	3.250	6.250	3,598.68
	3.500	6.500	3,460.27
	3.750	6.750	3,332.11
	4.000	7.000	3,213.11
	4.250	7.250	3,102.31

現在	米10年債金利	益利回り目標	理論価格
	3.687	6.187	3,635.33
	3.000	5.500	4,089.41
	3.250	5.750	3,911.61
	3.500	6.000	3,748.63
	3.750	6.250	3,598.68
	4.000	6.500	3,460.27
	4.250	6.750	3,332.11

出所) ブルームバーグより筆者作成 (2022年9月23日現在)



実質可処分所得は低下中。バブル崩壊時のB/S (P.8)

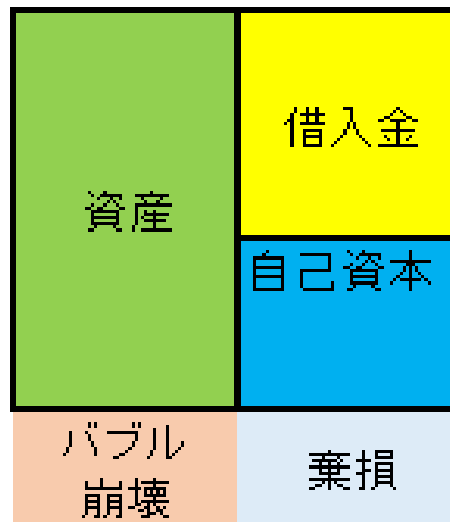
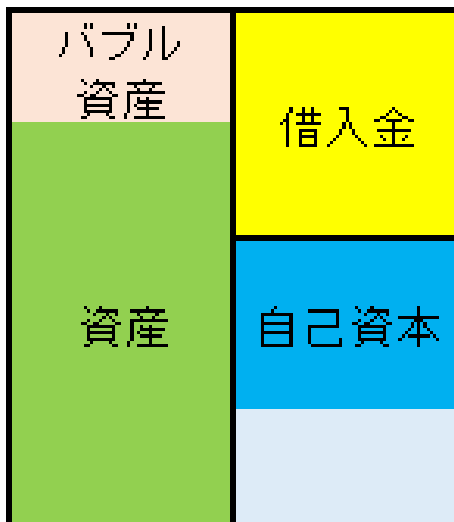
米国人の一人当たりの実質可処分所得

(個人所得総額から税金や社会保険料などを除く個人が自由に使える可処分所得から物価上昇分を調整したもの)



可処分所得縮小は景気にマイナスです。2020年4月と2021年3月に急上昇しているのはコロナ給付金の影響が大きいと考えています

出所) セントルイス連銀「<https://fred.stlouisfed.org/series/DSPIC96>」



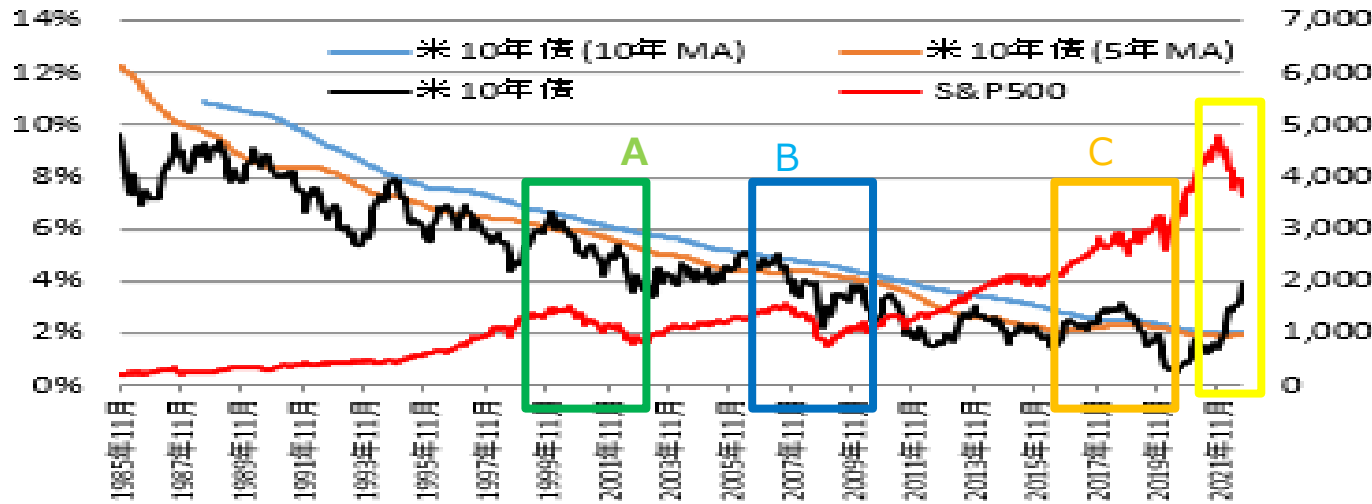
株価下落などで左側の資産が減っても、右側の借入金(負債)は減りません。したがって、基本的に右下の自己資本が減少することになります。つまり、バブル崩壊はB/S(バランスシート)を急速に悪化させるわけです。場合によっては債務超過となり、倒産へとつながる可能性もあります





米10年債ピークアウト後の不都合な真実 (P.9)

米10年債利回り、その10年・5年MA（移動平均）とS&P500指数（右軸）



ABCは過去3回、米10年債が10年MAを上回った後の金利低下局面です。ここから金利低下局面でも、株価の調整が続いているという「不都合な真実」があると分かります

今回はまだ金利上昇中です

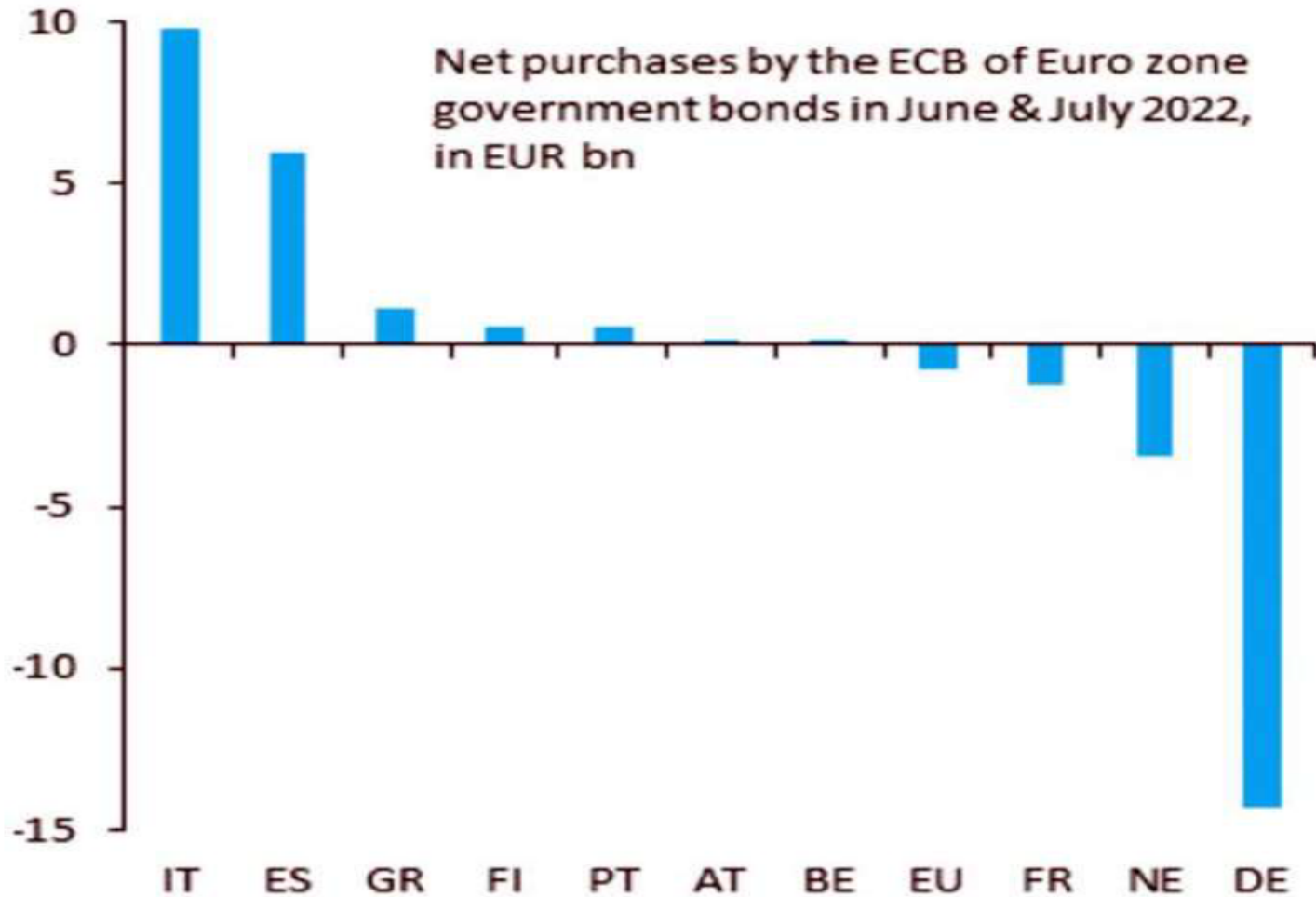
		米10年債	S&P500	NYダウ	日10年債	NK225	TOPIX
A	1999年12月	6.44%	1,469.25	11,497.12	1.65%	18,934.34	1,722.20
	2002年9月	3.60%	815.28	7,591.93	1.18%	9,383.29	921.05
			-44.5%	-34.0%		-50.4%	-46.5%
B	2007年10月	4.47%	1,549.38	13,930.01	1.61%	16,737.63	1,620.07
	2009年2月	3.02%	735.09	7,062.93	1.27%	7,568.42	756.71
			-52.6%	-49.3%		-54.8%	-53.3%
C	2018年9月	3.07%	2,913.98	26,458.31	0.13%	24,120.04	1,817.25
	2019年1月	2.63%	2,704.10	24,999.67	0.00%	20,773.49	1,567.49
			-7.2%	-5.5%		-13.9%	-13.7%
今回	2021年12月	1.51%	4,766.18	36,338.30	0.07%	28,791.71	1,992.33
	2022年9月26日	3.93%	3,655.04	29,260.81	0.24%	26,431.55	1,864.28
			-23.3%	-19.5%		-8.2%	-6.4%



バブル崩壊などで歯車が逆に回り始めると、バランスシートが痛み、それが企業価値を低下させるという「負のスパイラル」になります。売りが売りを呼ぶ展開です

マーク・ファーパーのレポート（2022年9月号）より（P.10）

図8 22年6・7月のECBによるユーロ圏国債の正味買入額（十億ユーロ）



出所：@RobinBrooksIIF

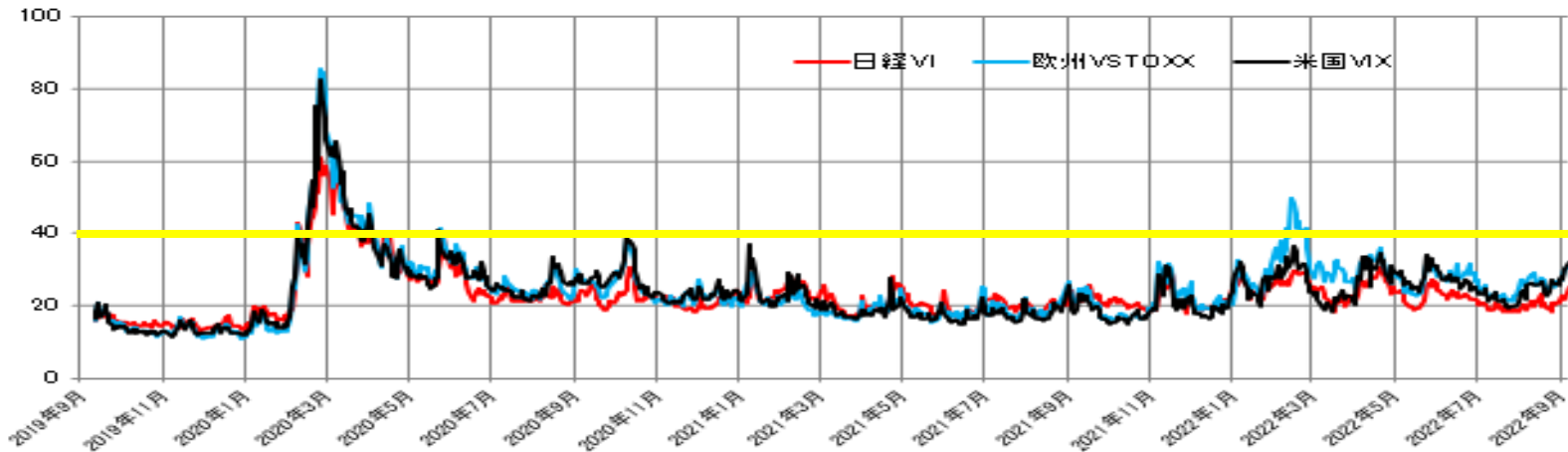
欧州の状況です。マーク・ファーパーのレポートは、その実情を端的に示しています。特に財政が悪い国（イタリアやスペイン）の実情が悪化していると分かります。また、欧州中央銀行（ECB）の債券ポートフォリオは質が悪化しているということです。イタリアやスペインなどの危機が顕著化するかもしれません





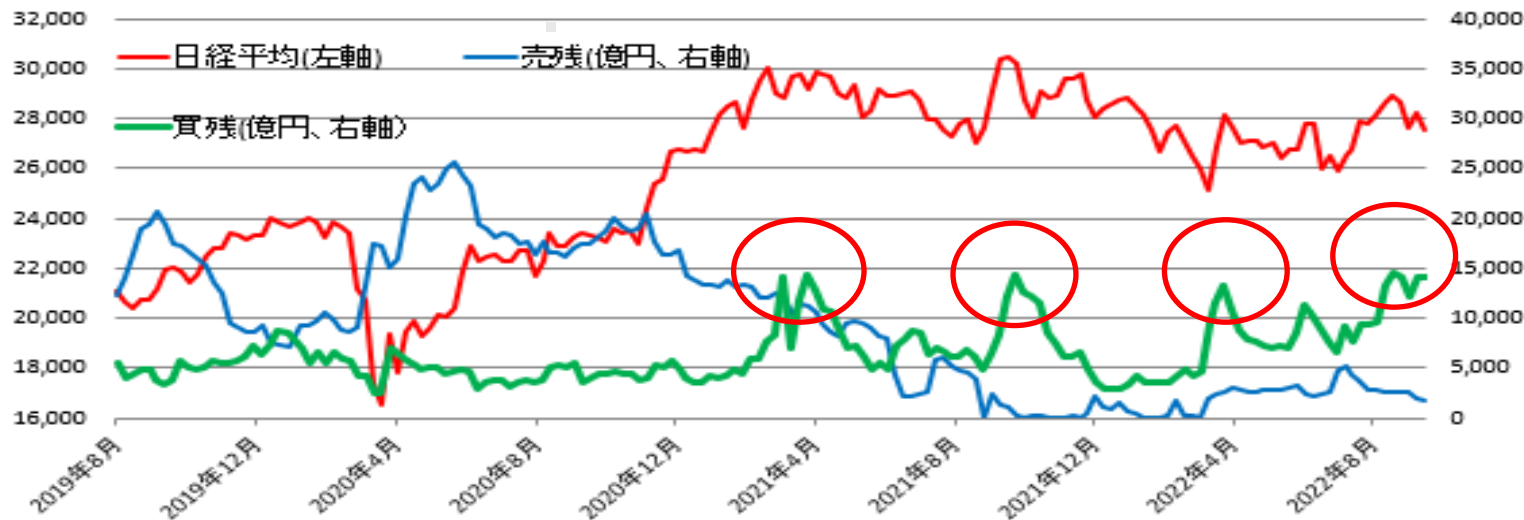
ボラティリティと裁定残高 (P.11)

日欧米のIV : 日本 = 日経VI : 25.13、 欧州 = VSTOXX : 30.75、 米国 = VIX指数 : 32.26



出所) ブルームバーグより筆者作成 (2022年9月26日現在)

裁定残高と日経平均



出所) ブルームバーグ、日本経済新聞より筆者作成 (2022年9月16日現在)



IV (インプライドボラティリティ) が一度40%程度に急騰すれば、あく抜け感も出てくるでしょう

裁定買い残も上限に近づいているようです。円金利の上昇は、裁定業者のコストアップにつながります



日経平均の銘柄入替はNT倍率の下げ要因？ (P.12)

日経平均構成銘柄の比重TOP 3

2022年8月			
1	9983	ファーストリテイリング	10.25%
2	8035	東京エレクトロン	5.52%
3	9984	ソフトバンクグループ	4.17%
上位3社合計			19.95%

	採用銘柄	除外銘柄
9月29日	6594 日本電産	8355 静岡銀行
10月3日	6273 SMC	3103 ユニチカ
10月3日	7741 HOYA	6703 OKI
10月4日	5831 しずおかファイナンシャルG	1333 マルハニチロ

出所) 日本経済新聞



9月末から10月初旬に日経平均構成銘柄のうち、3銘柄が変更になります(注：静岡銀行を除く)

値がさ株が新規採用されますので、現在のTOP3など上位銘柄の比重が低下します(日経平均連動型ファンドなどは比重を下げる必要がでてきますので、超過分の売りが予想されます)

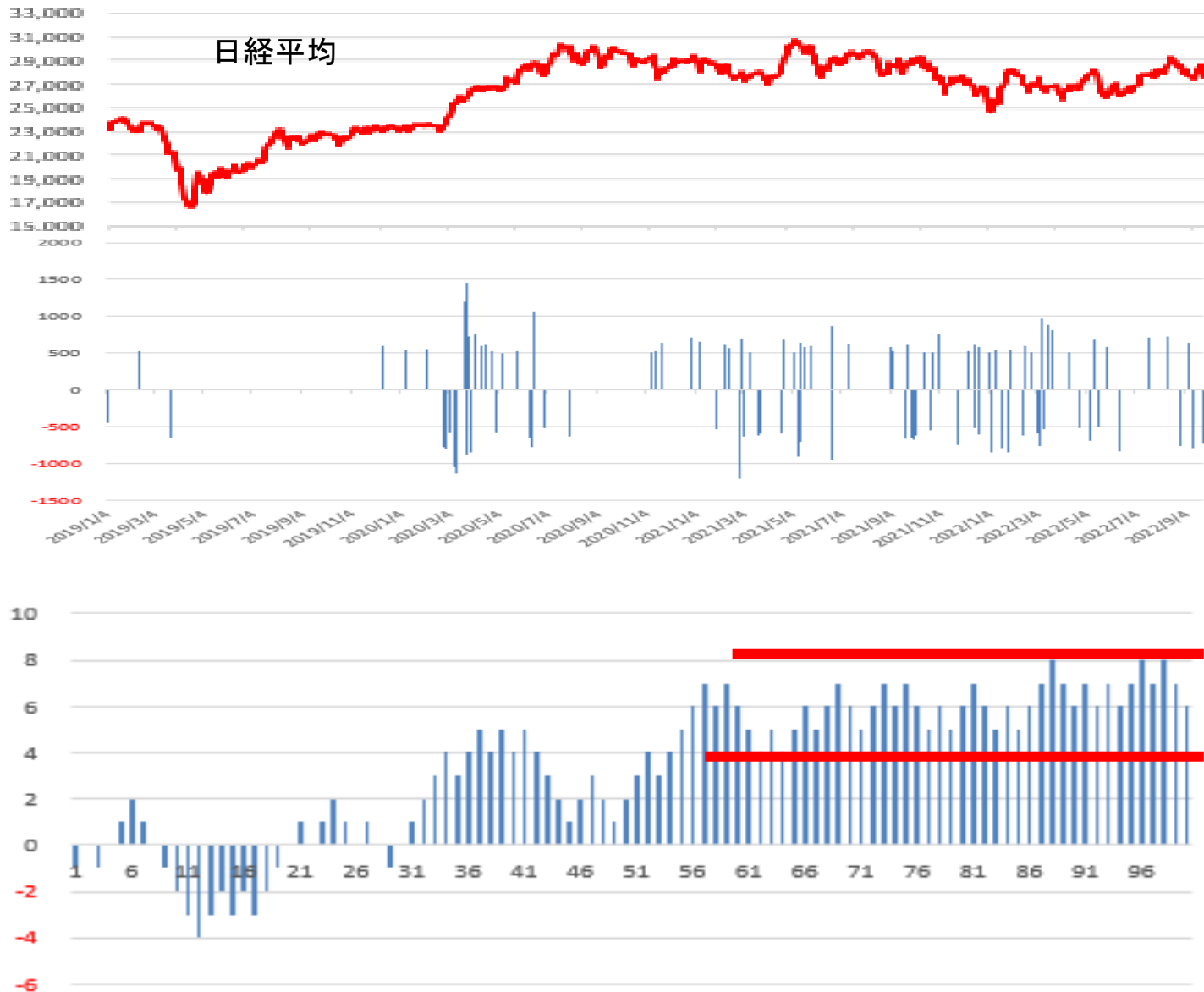
そのため日経平均を動かす難しくなることもあり、NT倍率(日経平均をTOPIXで割った指標)は下がる方向に動くのではと予想しています



出所) ブルームバーグより筆者作成 (2022年9月26日現在)



2022年の暴落暴騰パターン (P.13)



上のグラフは2019年1月から450円以上の上下があった時だけを抜き出したものです。オプション倶楽部の週次レポートから抜粋しました。2019年と比べて大きく振れる日の頻度が増えています

下のグラフでは大幅(450円幅)の上昇を+1点、下落を-1点として累積ポイントを見ています。パターンをみると、直近は、上げ下げが交互に起こることが多いようです。ボックスですね

大きな相場の流れが見えてきて、OP戦略に利用できます



買い戦略の例：ベアPUTスプレッド (P.14)

銘柄	日経225オプション		限月	22-09-4	検索														
建玉	出来高	売気配	買気配	I V	前日比	コール	行使価格	プット	前日比	I V	売気配	買気配	出来高	建玉					
0	0						25025	1↓C	0	30.31	1	1	110						
0	0						25750	1↓C	0	47.24	1		22	67					
0	0						25875	1↓C	-1	44.28	1		22	36					
0	0						26000	1↓C	-1	35.11	1		288	261					
0	0						26125	1↓C	-3	34.84	1		211	20					
0	0						26250	1↓C	-4	31.58	2	1	176	75					
0	0						26375	2↓C	-3	30.91	2	1	230	123					
0	0						26500	5↓C	-2	31.50	5	4	307	262					
0	0						26625	11↓C	0	31.25	11	8	174	30					
0	0						26750	20↓C	+6	30.90	20	17	244	340					
0	0						26875	31↓C	+10	30.43	35	31	32	25					
0	0		15				27000	53↓C	+23	30.35	57	53	441	613					
1	0		14				27125	81↑C	+38	29.05	86	80	140	17					
0	55	225	200	29.48	0	190↑C	27250	120↓C	+62	27.88	130	115	91	59					
1	167	150	135	26.58	-230	135↑C	27375	185↑C	+100	29.22	185	170	58	50					
10	240	92	83	27.13	-227	73↑C	27500	250↑C	+140	24.08	260	235	94	135					
4	85	50	45	25.71	-178	42↑C	27625	305↓C	+140	23.08	555	1	15	17					
30	295	23	20	25.02	-132	23↑C	27750	465↑C	+245	22.73		245	19	27					
77	302	9	7	23.46	-84	8↑C	27875	545↑C	+125	25.77	650	1	1	15					
382	507	3	2	23.03	-52	3↑C	28000	690↑C	+320	0		1	12	13					
109	279	2	1	25.98	-26	1↓C	28125					1	0	3					

「FOMCが1.00%利上げならば、1000円安も」と想定して、ベアPUTスプレッド（PUT 1枚買いとそれよりも低い権利行使価格のPUT 1枚売りの組み合わせ）を考えてみた（日経平均：27313.13、9月21日15時過ぎ）

①買い：26375 PUT @ 2 + 売り：26250 PUT @ 1（コストは1000円）
SQが26250なら、利益は12.5万円でリスク対リターンは**125倍**に（手数料を含まず）

②買い：27125 PUT @ 81 + 売り：27000 PUT @ 53（コストは2万8000円）
SQが27063.89なら、利益は約5万8000円でリスク対リターンは**約2.07倍**に（手数料を含まず）

ATMに近いほうが
良いわけではない
のがOPのとても
面白い特徴です



ATM・ITM・OTM（日経平均が27000円の時）（P.15）

◆権利行使価格とオプションの種類(例)

CALL	権利行使価格	PUT
OTM	28000	ITM
	27875	
	27750	
	27625	
	27500	
	27375	
	27250	
	27125	
ATM	27000	ATM
ITM	26875	OTM
	26750	
	26625	
	26500	
	26375	
	26250	
	26125	
	26000	

アット・ザ・マネー(=ATM)

日経平均株価に最も近い権利行使価格

イン・ザ・マネー(=ITM)

権利行使をした際に、オプションの買い手に利益が生じる状態。
コールの場合は原資産価格>権利行使価格、プットの場合、原資産価格<権利行使価格。

アウト・オブ・ザ・マネー(=OTM)

権利行使をした際に、オプションの買い手に損失が生じる状態。
コールの場合は原資産価格<権利行使価格、プットの場合、原資産価格>権利行使価格。

DOTM（またはFOTM）
= ATMからかなり離れた権利行使価格のOTM

※直近3限月以外の限月で、「アット・ザ・マネー」から上下8種類ずつ計17種類の権利行使価格のみを表示しています(直近3限月の場合、権利行使価格は125円刻みになります)

建玉情報 (CALL : 2022年9月27日7時) (P.16)

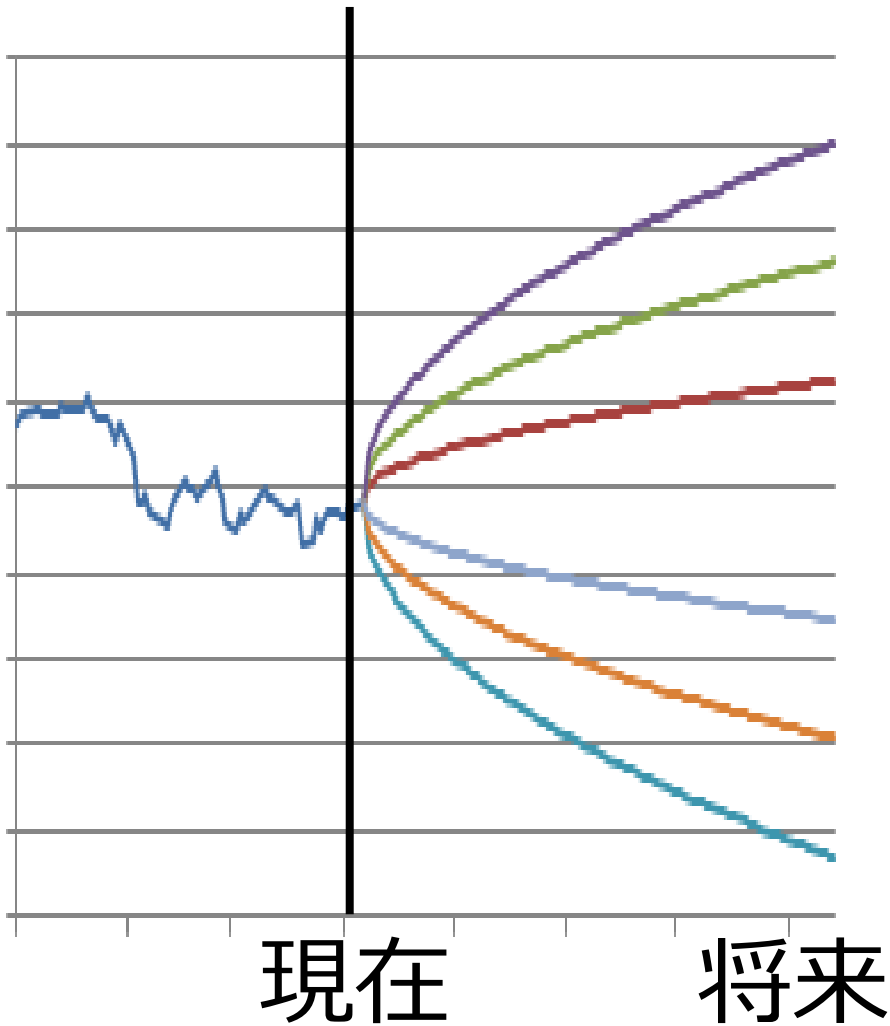
銘柄	日経225打*30分			限月	22-10	検索												
建玉	出来高	売気配	買気配	I V	前日比	コール	行使価格	プット	前日比	I V	売気配	買気配	出来高	建玉				
0	0		1				24625	100 ↓ C	-35	26.79		78	67	299				
0	0		1				24750	130 ↑ C	-20	29.20	160	36	186	2019				
0	0		1				24875	130 ↑ C	-35	27.22		4	35	327				
0	0		4				25000	145 ↑ C	-45	27.14	185	130	813	8885				
0	0		2				25125	165 ↑ C	-55	27.10		17	38	419				
0	0		4				25250	205 ↑ C	-30	23.51		150	65	2646				
0	0		2				25375	210 ↑ C	-45	26.38		62	29	972				
3	0		4				25500	245 ↑ C	-60	26.18	285	235	262	10272				
0	0		2				25625	270 ↑ C	-50	25.21		50	39	1153				
5	20		4	25.18	+90	950 ↑ C	25750	315 ↑ C	-55	25.19		275	47	2272				
1	14		2	24.79	+55	815 ↑ C	25875	335 ↓ C	-65	24.23		205	21	768				
230	6		100	24.14	+25	725 ↑ C	26000	370 ↓ C	-90	23.62	460	330	267	10969				
28	7		2	23.95	+50	650 ↓ C	26125	465 ↓ C	-40	23.55		4	8	1782				
214	29		4	23.57	+25	575 ↓ C	26250	490 ↑ C	-55	21.18	800	4	52	3765				
348	22		2	24.87	+10	490 ↓ C	26375	525 ↑ C	-100	23.09		4	12	1005				
533	110		50	22.98	+15	420 ↓ C	26500	590 ↓ C	-75	20.01	750	500	166	7361				
56	29		4	21.95	+35	385 ↓ C	26625	625 ↓ C	-70	22.26		2	16	2204				
330	119		250	22.49	+10	305 ↑ C	26750	740 ↓ C	-60	22.46		4	2	3121				
418	30	450	4	19.86	-5	255 ↓ C	26875	835 ↓ C	+100	21.73		2	3	1399				
2357	975	280	150	21.69	+35	245 ↑ C	27000	830 ↓ C	-165	21.09		450	41	11585				
714	38	215	4	21.80	-5	170 ↓ C	27125				1140	2	0	1386				
1477	138	175	120	20.20	+10	155 ↑ C	27250	1125 ↑ C	+5	20.82	4290	4	2	2400				
702	101	225	10	21.42	+5	115 ↑ C	27375	1115 ↓ C	-115	21.14	4380	2	1	957				
5493	637	115	87	19.37	+6	96 ↓ C	27500	1340 ↑ C	-25	21.53	4485	515	5	9892				
766	119	115	65	19.53	+10	80 ↑ C	27625				4570	2	0	1237				
1175	394	65	39	19.84	+11	66 ↑ C	27750				4700	2	0	1548				
1626	111	65	25	19.52	+5	50 ↑ C	27875					2	0	1428				
8567	565	49	31	18.89	+3	36 ↓ C	28000	1700 ↑ C	-115	0		2	2	3522				

出所) 楽天証券マーケットスピードより筆者作成 (2022年9月27日7時現在)

建玉情報も市場に潜むリスクを把握するのに大いに役立ちます

標準偏差の意味するところ (P.17)

SD (σ) = 標準偏差



ボラティリティが高くなると
標準偏差 (SD) の幅も大きくなる

左右を逆にしてみると

+ 3SD

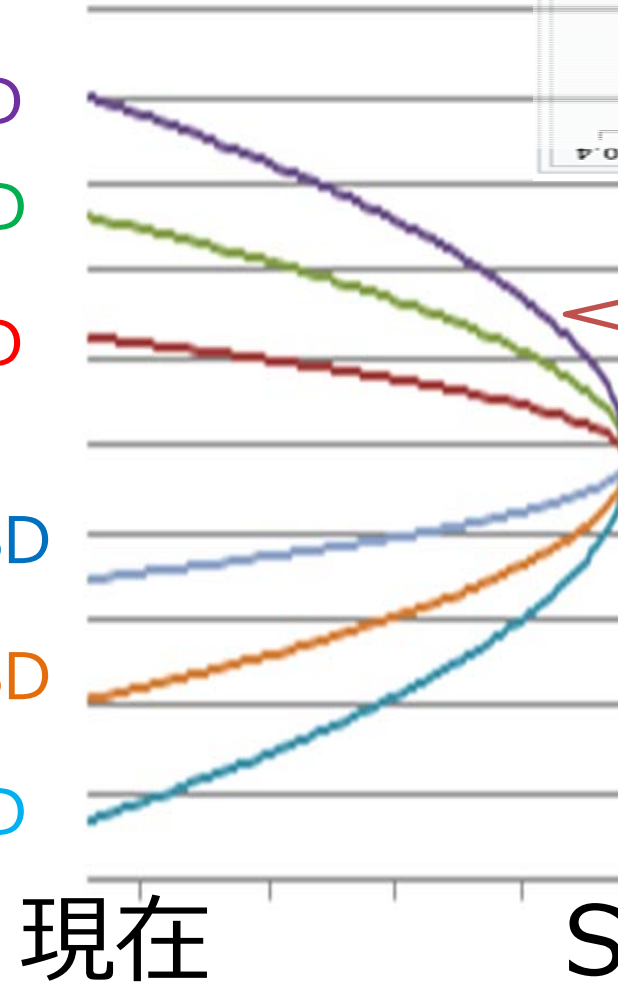
+ 2SD

+ 1SD

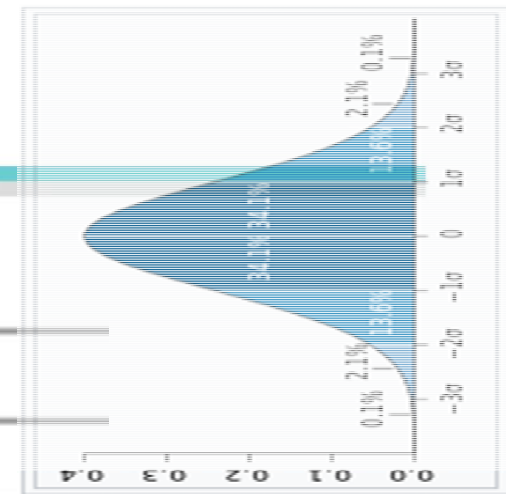
▲ 1 SD

▲ 2 SD

▲ 3SD



SQに向けて標準偏差の幅は日々狭ま
ってくる (ボラが拡大しない場合)



+ 3 σ 以上
になる確率
は0.135%

ルールの把握と3つの側面を学ぼう (P.18)

相場は生き物

取引ルールの把握

OPトレードの本質理解に最も重要な3つの側面が「確率」「経済合理性」「心理」です。オプション倶楽部の究極目標は実践をとおしてそれらを習得していただくことにあります

確率

- HVとIV
- 分布
- MVA (乖離)

経済合理性

- **本質的価値**
- 経済理論

心理

- 需給
- 人間の行動
- フラクタルとカオス

証拠金管理を徹底して、負けない運用を → **すぐ逃げる**

リスクとリターン (P.19)

応用知識編 (資料)

- 第1回 日経平均とTOPIX (東証株価指数) [動画](#)
- 第2回 日経平均株価と日経平均先物価格の関係 [動画](#)
- 第3回 オプション価格の特性 [動画](#)
- 第4回 オプションと先物 [動画](#)
- 第5回 ボラティリティとは [動画](#)
- 第6回 正規分布と標準偏差とは [動画](#)
- 第7回 グリークス [動画](#)
- 第8回 オプション計算機の活用 [動画](#)
- 第9回 リスクとリターン [動画](#)**
- 第10回 最適化 [動画](#)

まずは「リターンの最大化」よりも「リスクの最小化」「1リスク当たりのリターンの最大化」から徐々にトレード経験を積んでいくことが重要だと考えています。運用では、リターンの金額にとらわれるのではなく、その安定性が何よりも重要なのです

9-1) リスクとリターン

リターン
(収益)
(収益率)



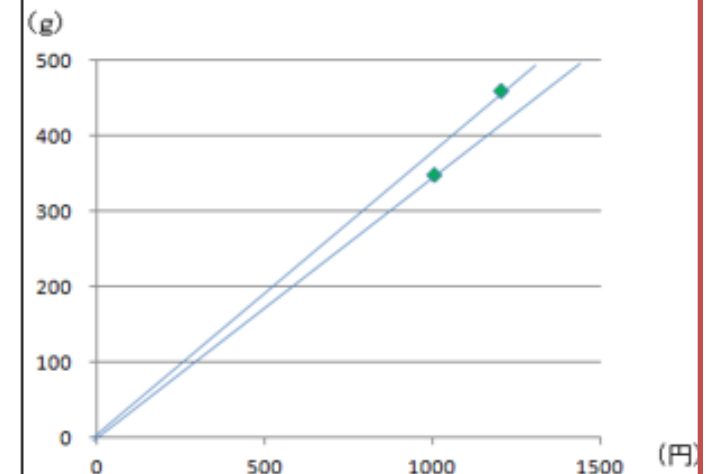
リスク
(証拠金)
(標準偏差)
(確率)
(デルタ)

< 投資家の合理的な選択基準 >

- A) リスクの最小化
- B) リターンの最大化
- C) 1リスク当たりのリターンの最大化**

例) 肉を買うなら、どちらがお得

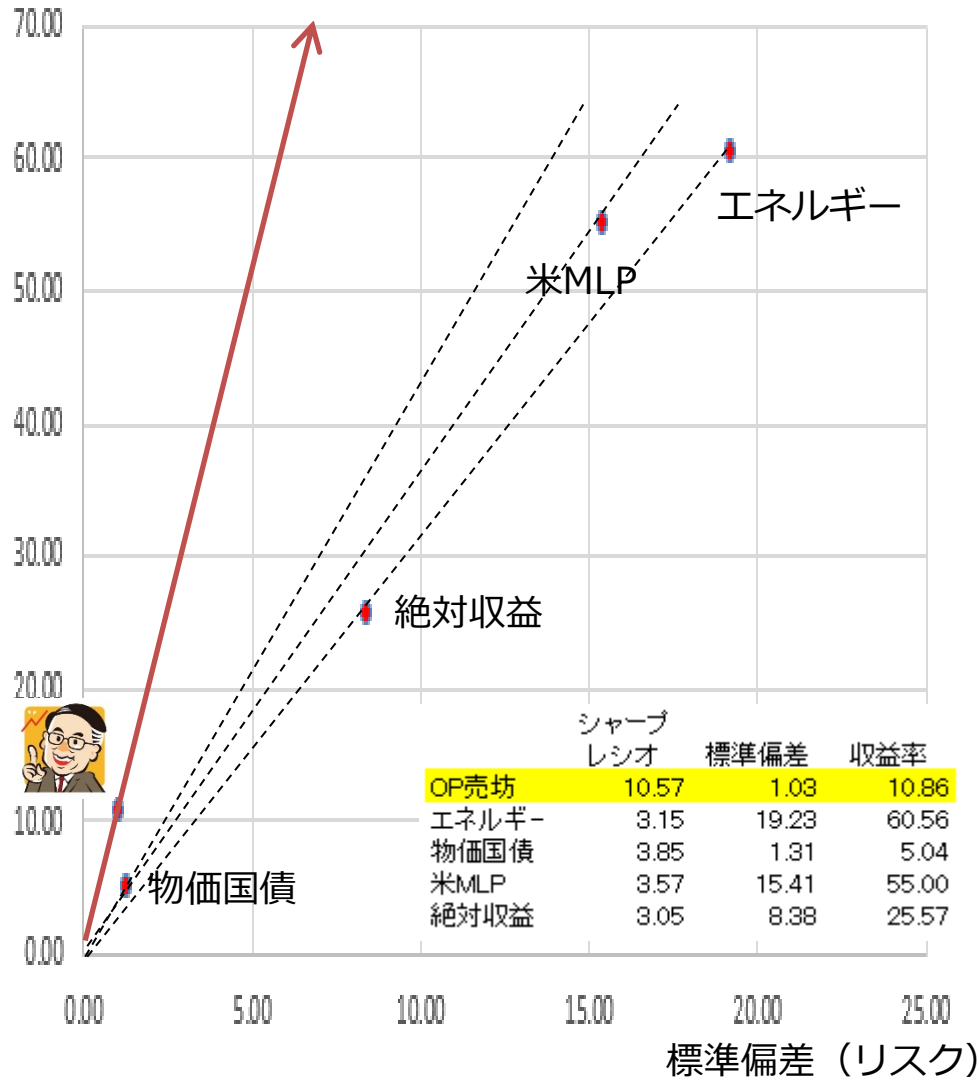
	スーパーA	スーパーB
価格	999	1200
内容量g	350	460



シャープ・レシオ"10"の世界へ (P.20)

$$\text{シャープ・レシオ} = \frac{\text{リターン} - \text{リスクフリーレート}}{\text{リスク}}$$

収益率



順位	ファンド名	会社名	カテゴリー	シャープレシオ (1年)	総合レーティング	リターン (1年)
1	(NEXT FUNDS)エネルギー資源上場投信『愛称：NF・エネルギー資源(TPX17)ETF』	野村	国内大型/リ...	3.15	★★	60.56%

順位	ファンド名	会社名	カテゴリー	シャープレシオ (1年)	総合レーティング	リターン (1年)
1	日本物価連動国債ファンド	大和	国内債券・物価連動債	3.85	--	5.04%

順位	ファンド名	会社名	カテゴリー	シャープレシオ (1年)	総合レーティング	リターン (1年)
1	米国MLPファンド(毎月分配型)Bコース(H無)『愛称：THE MLP B』	ドイチェ	国際株式・北米 (F)	3.57	★	55.00%

順位	ファンド名	会社名	カテゴリー	シャープレシオ (1年)	総合レーティング	リターン (1年)
1	ブラックロック世界株式絶対収益追求F(H無)	ブラックロック	ヘッジファンド	3.05	★★★★	25.57%

収益率、リスク、シャープ・レシオと確率 (P.21)

収益率 %	リスク %	シャープ・ レシオ	99.7%の確率で		95%の確率で			
			%	%	%	%		
10.0	10.0	1	-20.0	~	40.0	-10.0	~	30.0
	5.0	2	-5.0	~	25.0	0.0	~	20.0
	3.3	3	0.0	~	20.0	3.3	~	16.7
	1.0	10	7.0	~	13.0	8.0	~	12.0

30.0	30.0	1	-60.0	~	120.0	-30.0	~	90.0
	15.0	2	-15.0	~	75.0	0.0	~	60.0
	10.0	3	0.0	~	60.0	10.0	~	50.0
	3.0	10	21.0	~	39.0	24.0	~	36.0

50.0	50.0	1	-100.0	~	200.0	-50.0	~	150.0
	25.0	2	-25.0	~	125.0	0.0	~	100.0
	16.7	3	0.0	~	100.0	16.7	~	83.3
	5.0	10	35.0	~	65.0	40.0	~	60.0

注) 正規分布を前提とした場合

OP売坊の重要視しているもの (P.22)

確率・勝率・収益率

資産管理・
リスク管理

オプションは面白い



パターン分析
(時系列
・分布)

簡単・
シンプル

次回は**10月26日**に出演
させていただく予定です。
本資料は**番組HP**または
オプション倶楽部
(optionclub.net) から
無料メルマガ「**グレイ・リノ通信**」にメアド
をご登録いただくと取得
できます。メルマガでは
放送をさらに楽しんでい
ただくための**補足Q&A**
などの情報を配信してお
りますので、ぜひぜひお
気軽にご登録ください！
質問も募集中です！



質問大募集 →

<http://trs.jp/r/op-form>



最後までご清聴、誠にありがとうございました。

講師ブログ『実践日経オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

講師ツイッター『OP売坊@OP49431790』

<https://twitter.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2022 日経OP売坊

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.